

東北地方 1か月予報

(2月9日から3月8日までの天候見通し)

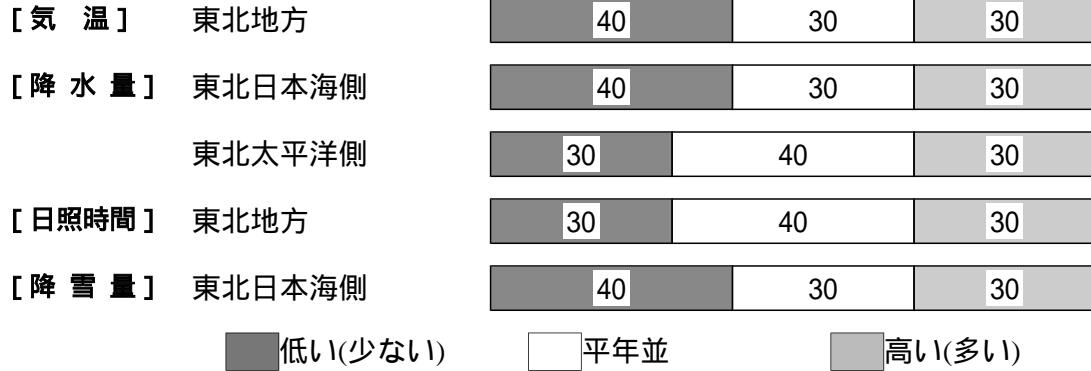
平成20年2月8日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

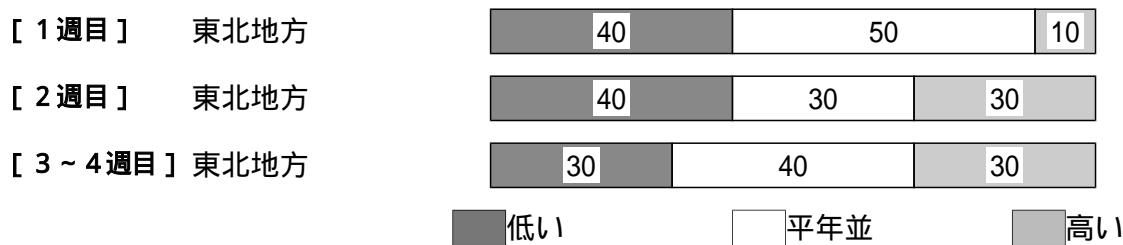
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は平年並の確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 2月 9日(土) ~ 3月 8日(土)
1週目 : 2月 9日(土) ~ 2月 15日(金)
2週目 : 2月 16日(土) ~ 2月 22日(金)
3~4週目 : 2月 23日(土) ~ 3月 7日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は2月15日
3か月予報: 2月25日(月) 14時
暖候期予報: 2月25日(月) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温()		
					1週目	2週目	3～4週目
青森	-0.5	100.6	89.4	175	-1.4	-0.9	0.1
深浦	0.4	76.4	63.3	102	-0.5	0.0	0.9
むつ	-0.9	83.3	107.9	158	-1.8	-1.3	-0.4
八戸	-0.2	49.9	142.6	96	-1.2	-0.6	0.4
秋田	0.8	93.0	81.0	106	0.0	0.4	1.3
盛岡	-0.8	59.3	139.4	87	-1.8	-1.3	-0.2
大船渡	1.4	59.8	147.9	29	0.7	1.1	1.8
宮古	0.8	77.8	159.0	66	0.1	0.5	1.3
仙台	2.3	51.5	159.2	29	1.6	2.0	2.8
石巻	1.5	46.1	169.7	22	0.8	1.2	2.0
山形	0.5	66.5	113.1	130	-0.4	0.0	1.0
新庄	-0.3	131.3	71.2	213	-1.1	-0.7	0.2
酒田	2.0	107.4	76.0	100	1.3	1.6	2.5
福島	2.5	53.6	154.4	59	1.7	2.1	3.0
若松	0.3	65.3	108.5	139	-0.5	-0.1	0.8
白河	1.1	46.3	161.8	46	0.4	0.7	1.6
小名浜	4.2	65.7	177.4	0	3.6	3.9	4.7

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.5～+0.6	80～112	97～104	75～118
東北日本海側	-0.5～+0.5	92～108	92～106	89～119
東北太平洋側	-0.5～+0.6	64～121	98～104	66～119

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.8～+0.9	-0.9～+0.9	-0.6～+0.5
東北日本海側	-0.8～+0.9	-0.9～+0.9	-0.6～+0.5
東北太平洋側	-0.8～+1.0	-0.9～+1.0	-0.6～+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成20年2月8日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(2月9日~3月8日):

期間のはじめ一時冬型の気圧配置が強まりますが、その後は冬型の気圧配置となる日は少なく、低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目(2月9日~2月15日):

気圧の谷や冬型の気圧配置により、曇りや雪の日が多いでしょう。東北太平洋側の沿岸部では、期間のはじめと終わりに晴れの日がある見込みです。

期間の後半、気温がかなり低い日があるでしょう。

平均気温は平年並の確率が50%です。

2週目(2月16日~2月22日):

一時冬型の気圧配置となります。天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雪の日が少なく、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3~4週目(2月23日~3月7日):

冬型の気圧配置となる日は少なく、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

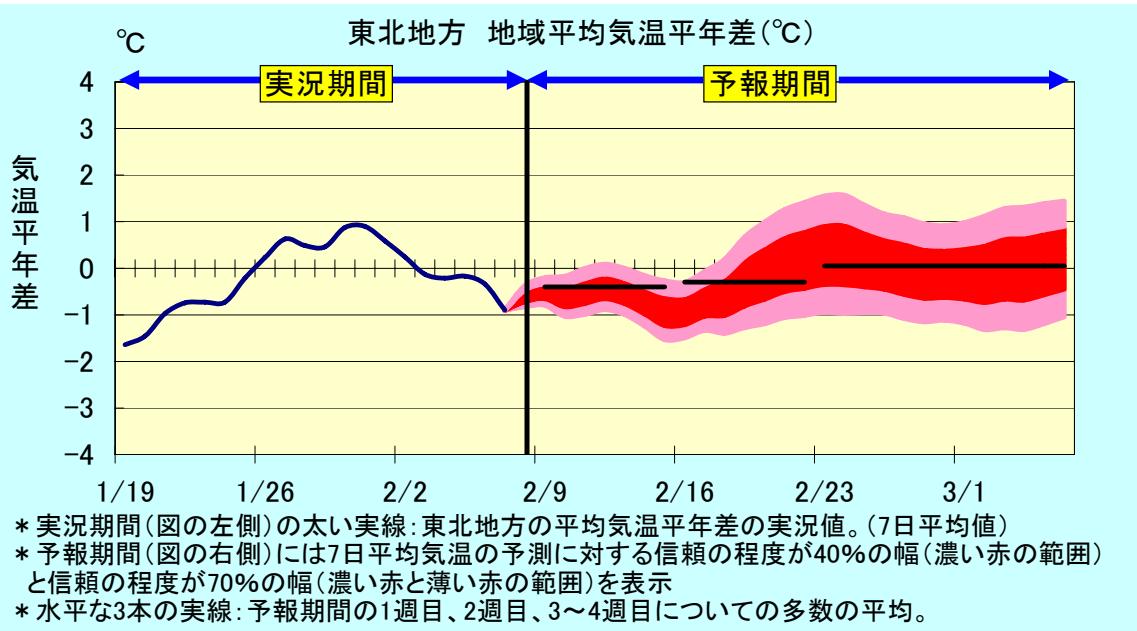
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	7.8日	1.6日	1.6日	4.6日
東北太平洋側	17.8日	4.6日	4.3日	8.9日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、2週目、3~4週目ともに平年付近の予想となっている。

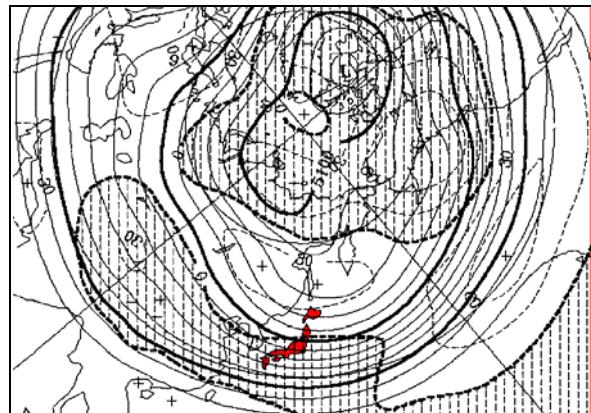


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均：北海道と東北北部はシベリアとオホーツク海に中心を持つ正偏差域に覆われる。東北南部以南は華中から帶状に続く負偏差域となる。日本付近の等高度線は東西になだらかで、天気は数日の周期で変わる見込み。地上天気図（図略）では冬型の気圧配置は弱く、低気圧の影響が予想される。気温は、西からの寒気の影響を受け、一時低くなる見込み。

1週目：シベリア北部に中心を持つ負偏差域が大陸から日本付近と北太平洋北部まで続く。日本付近の等高度線は東西になだらかで、移動性の擾乱の影響を受けるが、西からの寒気の影響を受ける時期もある見込み。

2週目：北極付近は負偏差域がまとまり、北極振動は寒気蓄積傾向。日本付近は中国東北区に中心を持つ正偏差域に覆われ、大陸の冷たい高気圧の影響を受ける見込み。



1か月平均 500 hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)

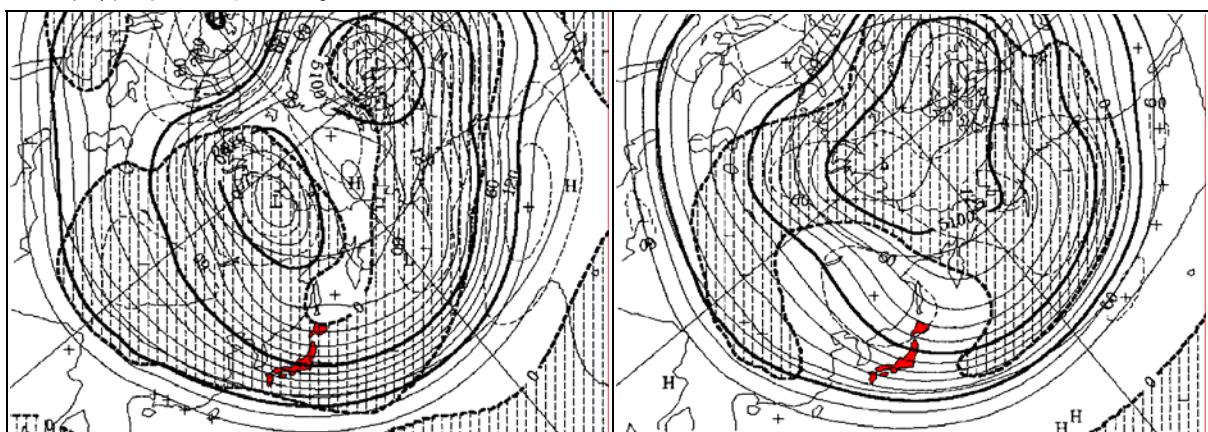
1週目平均 500 hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する

2週目平均 500 hPa 予想天気図

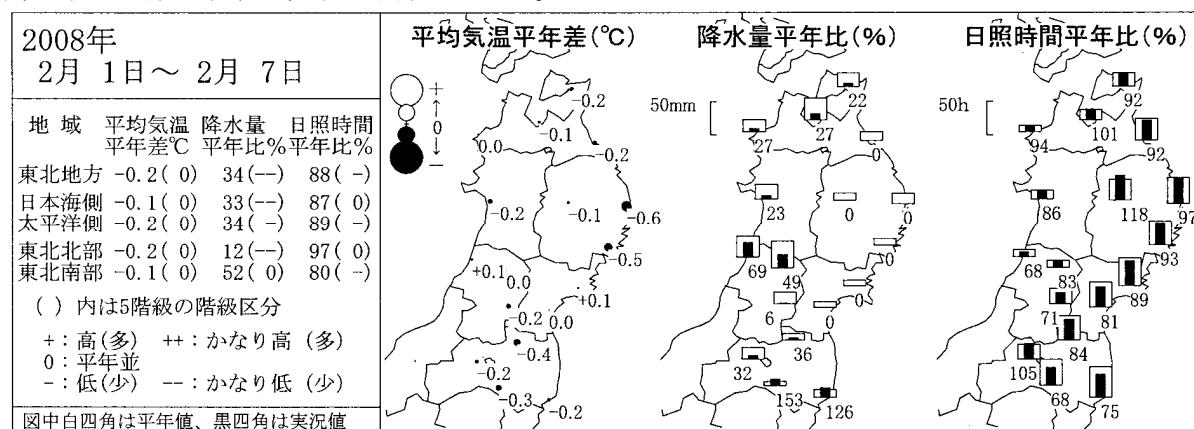
白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する



4. 最近1週間（2月1日～2月7日）の天候の経過

この期間、天気は短い周期で変化した。1日は冬型の気圧配置となり、東北日本海側と北部を中心に曇りや雪となった。2日から3日には南岸低気圧の影響で東北太平洋側や南部を中心に雪となるところがあった。その後、再び冬型の気圧配置となって寒気が入り込み東北日本海側だけでなく東北太平洋側でも雪となつたところがあったが、6日には、冬型の気圧配置は弱まり東北地方は南岸低気圧や日本海の気圧の谷の影響を受けた。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）